

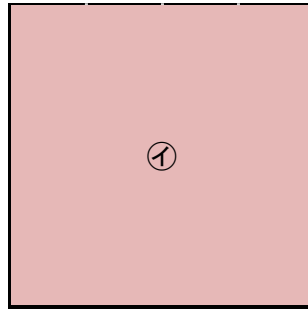
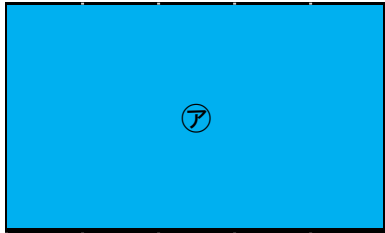
# 学習課題(小学校4年生)

【算数】「※」は学習するときのヒントです。

＜学習内容＞

◆「面積」（教科書2ページ～17ページ）

長方形 ㉗ と正方形 ㉘ はどちらがどれだけ大きいでしょうか。



※重さの学習の時は、1円玉いくつ分でくらべるのができたよ。広さはどうすればいいのかな？

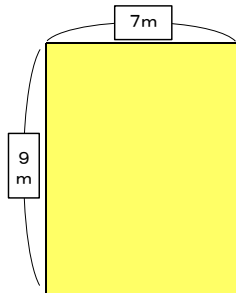
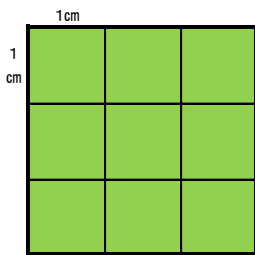


広さを数に表してくらべるには、どうやって考えればいいのか。

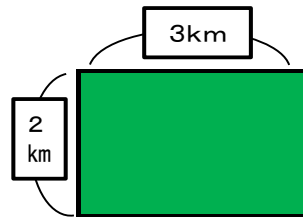
自分の考えを説明してみよう。


面積は（                      ）の何こ分で表してくらべるといいね。

次の図形の面積を求めましょう。



※単位が「cm」「m」「km」とちがうからまちがいないようにしないとね。



式

答え

式

答え

式

答え

※長方形、正方形の面積の公式は、  
長方形（                      ）×（                      ）  
正方形（                      ）×（                      ）だったね。

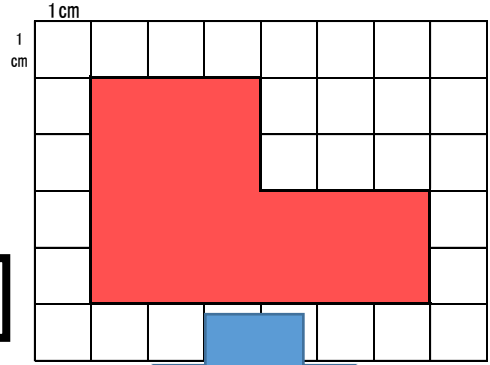


右の図の面積を求めましょう。



※長方形や正方形の面積を求める公式が使える図形を見つけるとできそうだよ。

どのように求めればいいのか？



計算のしかたを説明してみよう。


【図】

面積の単位の関係を調べて表にまとめましょう。

		×10	×	×	×	×
正方形の1辺の長さ	1 cm	10 cm	1 m	10 m	100 m	1 km
正方形の面積	1 cm <sup>2</sup>					
		×100	×	×	×	×

表をまとめて気が付いたことを書こう。


<保護者による関わり方のポイント>可能な範囲でお願いします。

◆面積（教科書P2～17）

- 本単元では、広さを直接比較したり、消しゴムいくつ分と自分で決めた任意単位で比較したりするところから学習が始まります。これらは手間がかかること、明確に表現できないことを捉える上で大切なステップとなり、改めて「cm<sup>2</sup>」や「m<sup>2</sup>」などの「普遍単位」のよさに気付くことができます。
- 積の単位の関係は、1辺を10倍すると面積は(10×10)倍になるから100倍になることに気が付いていくことを大切にしています。この関係が見いだせると、他の面積の単位を導き出せるようになります。